

さくら・にゃん・にゃん
3.22
3月22日は「さくらねこの日」

SAKURA
NEKO
RESCUED
いのちつないだ
ワンニャン写真動画コンテスト入賞作品集
-2021-
DOG
RESCUED
公益財団法人 どうぶつ基金
CAT

 公益財団法人
どうぶつ基金

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 TEL:0797-57-1215 FAX:0797-25-2075
contact@doubutukikin.or.jp www.doubutukikin.or.jp



一人でも多くの人に知ってもらいたいので、この資料を読み終えたら他の人に渡してください。

写真は時代の証人

12年前、この写真コンテストが始まった頃、
約30万頭の犬と猫が殺処分されていました。

これを何とかしたいと始めたのが「買わずに飼ってね」をキャッチフレーズにした、
「いのちつないだワンニャン写真コンテスト」です。

12年後、殺処分数は10分の1まで減少し殺処分ゼロのゴールは見えてきました。

パンデミックが進行中の今年も、
変わらぬ愛にあふれた作品を残していきたいと思えます。

公益財団法人どうぶつ基金
後援 環境省 大阪府

2021



2020



2016



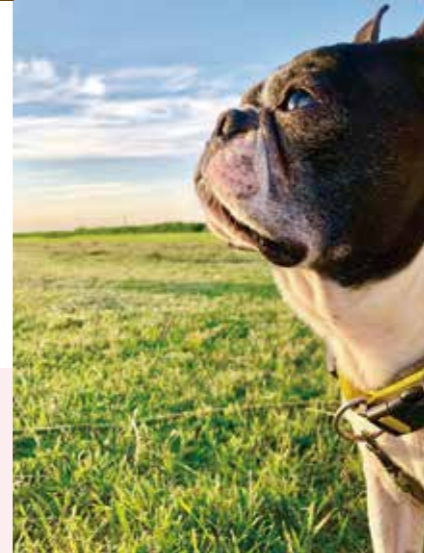
2011



2015



2017



2019

2012



2014



2013

2010



この写真コンテストは犬や猫と幸せに暮らす方法として、ペット業者から買うのではなく
「保護された動物の里親になる」「地域猫の世話をする」といった
「本当なら殺されていたかもしれない小さな命が、救われ共に生きる」ことの素晴らしさを
多くの人に知ってもらうために2010年より毎年開催しています。

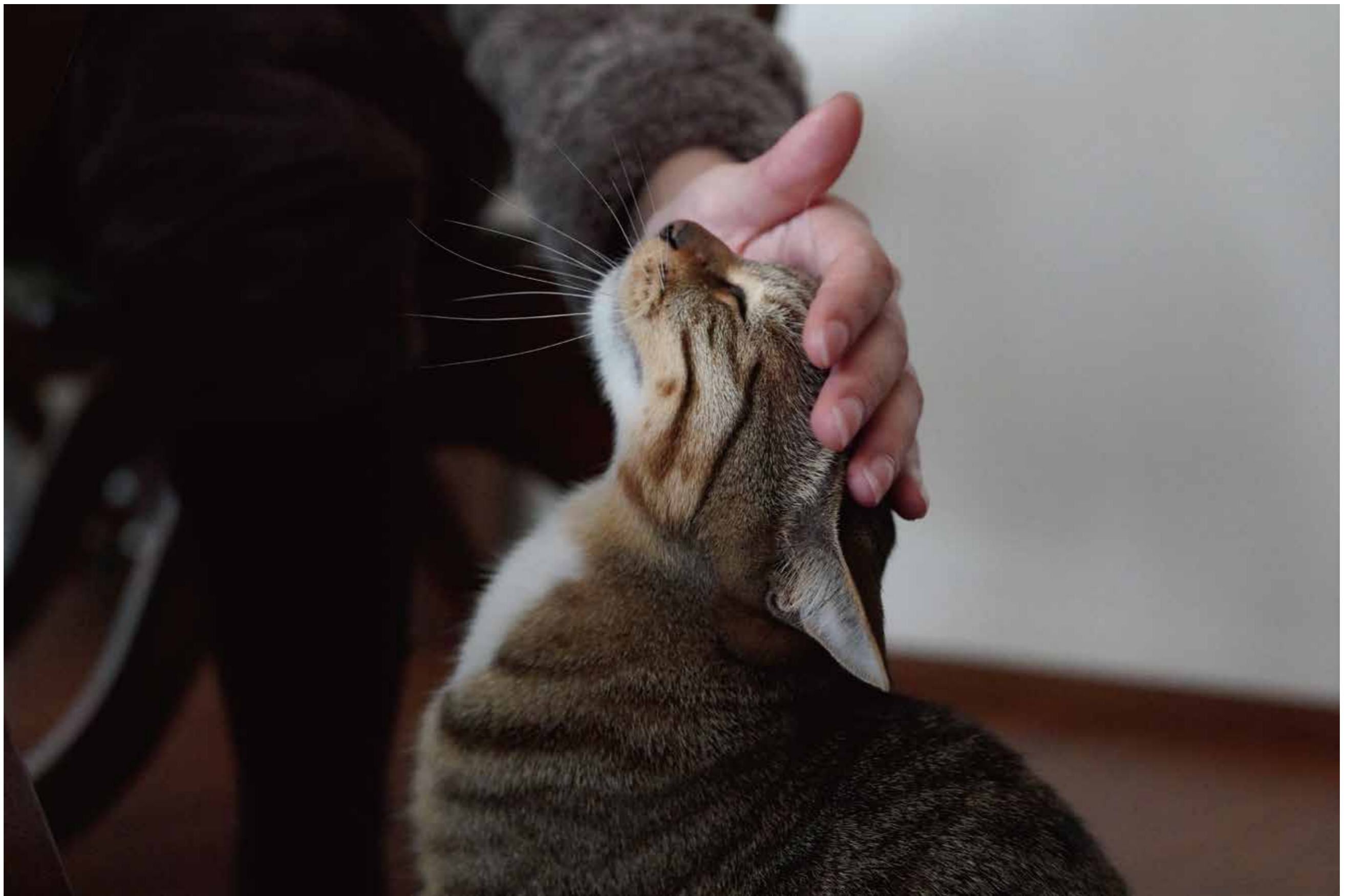
小さな命が救われ、共に生きる



環境大臣賞

「おやつはジャンケンで！」 坂上 大輔様

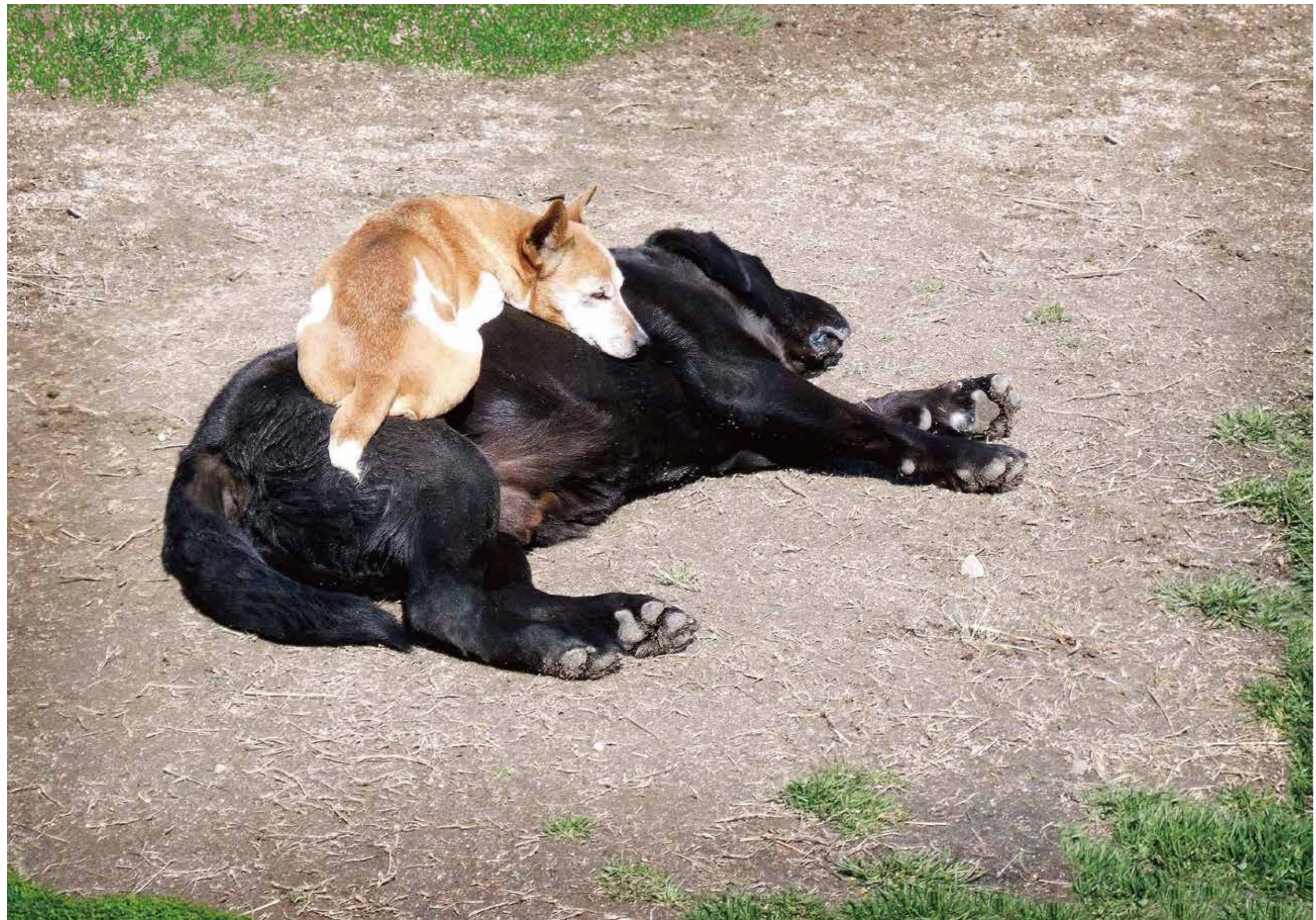
生粋の野良生まれで今は「さくらねこ」の兄弟。
時折見せるユニークな光景は猫達の個性の豊かさを象徴していると思います。
ペットショップの少ない選択肢よりももっとたくさんの猫達を見てからでも遅くない！そうでしょ？



大阪府知事賞

「いいこいいこ。」 藤野 真理様

朝昼晩・・・一日に何回「可愛いねえ～」って言って頭を撫でているだろう。
いてくれるだけでいい。これが日常になった事が、本当に幸せでありがたい。今日もありがとうね。
昨年保護団体を通じて我が家にやって来て、先日1歳になりました。
長く長く、いっしょに生きていこうね。



理事長賞

「ベッドで熟睡」 小池 利隆様

ボランティアで家の無きワンちゃんの憩いの場所です。
7～8匹のワンちゃんの遊び広場です。
遊び疲れたワンちゃんのお昼寝時間です、毎回大型黒ワンちゃんの中をベッドにして昼寝です。
優しいお母さんの様なワンちゃん、でも男の子ですよ。
(これは実写です加工はしていません)



審査員特別賞

「ウユニ塩湖！？」遠藤 里織様

ポチたま会より、2006年に雪を、2015年に蘭と桜をお迎えしました。

雪は残念ながら昨年未だに虹の橋を渡ってしまいました。

この日はお天気も良く、まるでウユニ塩湖にいるかのような写真が撮れました。

きっとお空に行った雪と一緒に遊びたかったのかもしれない。白い雲となって現れてくれたのでは…そう信じています。



入 選 作 品

さくらねこ部門





「開いた口が塞がらにゃい」

アサミ様

近所で数ヶ月前から見かけるようになった猫ちゃん。
たぶん兄弟かな？手術をしていない様子だったので捕獲作戦スタート！
毎晩ご飯をあげたりおやつをあげたり、だんだん慣れてきた頃に、
なんと廃墟のマンションに登って一週間降りて来られなくなっていました。
心配して声をかけてくださった近所のご家族やボランティアの方々を巻き込みなんとか救出に成功！
数日前に手術も無事終わり、今ではこの地域の有名な猫ちゃんになりました笑。
みんな2人を見かけると足を止めてくれます。
みんなに可愛がってもらってらえて、嬉しいね♡



「穏やかな一日」

北方 有様

こう見えて女の子のねこちゃん、あたたかくてのどかな今日はお花のベッドでお昼寝です。



「駆け寄る」

伊東 純一様

私を見つけると嬉しそうに駆け寄ってきてくれます。



「優しいドンちゃん」

増田 充子様

人にも猫にも優しく誰とでも仲良くなれるドンちゃん。
行くといつもお喋りしてくれます。地域猫ちゃん達のムードメーカー的存在です。



「桜の木とさくらねこ」

さくらねこ見守り隊 くわはら かよ様

彼女は2019年にさくらねこになりました。
木登りが大好きだった、オッドアイの鍵しっぽの女の子です。
そして、今年の6月、ついにずっとのおうちが見つかりました。
これからもさくらねこたちの家族とのご縁も繋いでいきたいと思っています。



「ねこマンション」

あゆ様

地域の方と協力して、1年前にみんな、さくらねこになりました。
猫ちゃん達は暑い日も寒い日も、雨の日も嵐の日も外で過ごさないといけません、
お父さんが、段ボールで猫マンションを作ってくれました。(ばんこの下にある箱も猫マンション)
少しは心地よく過ごせてるかな？
猫マンションで幸せに暮らしてね！最後まで皆で見守るね！



「たたずむ」

堀尾 知弘様

この子の名前は「ボン」、女の子です。
某お寺に住んでいましたが、今はいません。
たくさん子供を産み育てた、“GOD MOTHER”です。
この子が言葉を喋れたなら、「ネコと人は平等だよ」とでも言いそうです。
そんな言葉を聞いたなら、動物虐待なんてありえないでしょうね。



「さくら耳という勲章」

毛塚 美沙緒様

毎朝の散歩でいつも会う猫たちが気になっておりました。
お腹を空かせてないか、でもエサをあげるのだけというのはどうなのかと迷っていたところ、
インターネットでどうぶつ基金のことを知りました。
市役所のホームページにも行政枠でTNR活動が行われている事を知りすぐに相談し、
ボランティアの方々にご協力いただきながら現在順調にTNR進めております。
「すぐやる、全部やる、続ける」をモットーに今後もこの活動に携わっていきたいと思っております。



入 選 作 品

いのちつないだワンコ部門

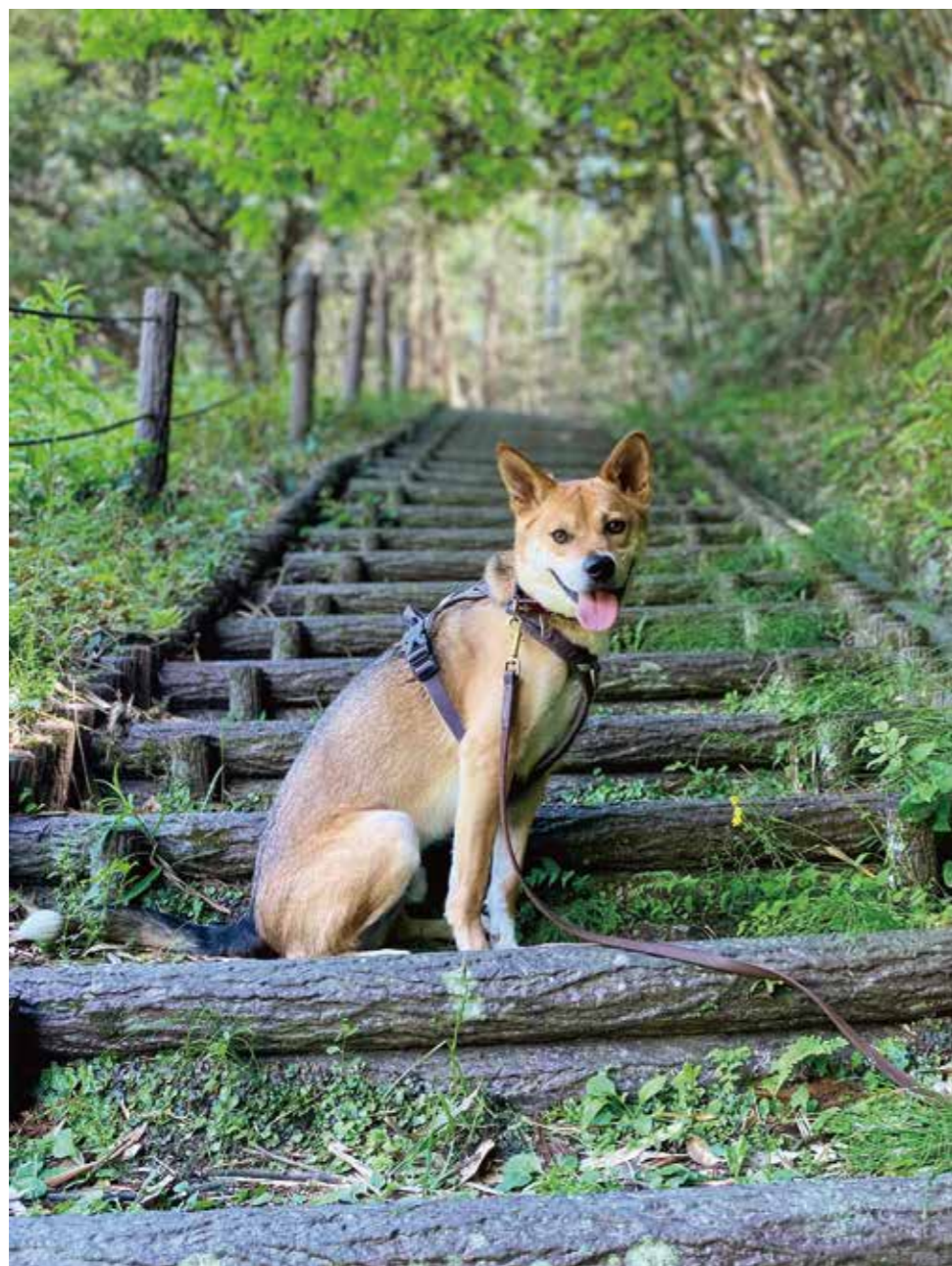


「3本脚の颯太君」

渡邊 久美様

保健所からレスキューされ、
飼い主さんが見つかるまでの預かりという立場での出会いでした。
アレルギーもあって、当初はもういっとうなるかわからないくらいに痩せ細っていて目つきも悪く...。
脚の関節もないので前脚一本はとて太く体重を支えています。
2年を経て、元気になりましたが家族は見つからずこの子を家族に迎えることを決意しました。
今は、見違えるくらいに元気で表情豊かになりました。
走る姿がカンガルーのようで、
お散歩近所のご高齢の方の励ましになっている颯太君です。





「ハイキング」

安永 優子様

もちとの出会いは保護施設。

兄妹犬みんな引き取られて、最後の1匹でした。

とにかく元気で明るい男の子！よく食べよく走りよく寝ます。

あっという間に4年が過ぎました。

これからも楽しい事沢山しようね♪

野犬の子ども、元野犬、幸せに暮らしている子いっぱいいます。

ペットショップで命を買わない選択をする人が増えて欲しいと願います。



「あずきとだいずと桜。」

田村 聖子様

それぞれが違う団体からの譲渡ですが、

生まれた時から一緒なんじゃないの？というぐらい仲の良い2人。

お互いがお互いの役割を持って過ごしてるんだなあという姿を見せてくれます。

来年の桜も一緒にみよう。



「光に包まれて」

安保 雅美様

凧は愛媛の閉鎖的空間でばら撒かれた餌を食べ、高く積もった糞尿の上で暮らしていました。建物の外に出た事がなく、餌を撒くお爺さん以外の人を知らずに幼少時代を過ごした為、未だに人間や他犬を恐れます。そんな凧が愛媛の保護団体さんから静岡の保護主さんを経て神奈川の我が家に来てから6年。今では先住犬と共に山や海、自然豊かな場所に遊びに出掛けられるようになりました。光の当たらない場所で生まれ育った凧の未来が明るく照らされていますように。



「大切に大好きな家族」

ビオラ様

猟犬として使えない。と保健所の回収車の鍵を壊して弟犬と一緒に棄てられ、皮膚病もあり飢えて痩せて虐待されて傷付けられて…。心も体もボロボロの状態で保健所に保護された子です。それから過去の影響による人間への恐怖を、保護された保健所のボランティアさんが日々優しい声をかけて薄めてくださいました。そして私達家族に素敵なお縁で運命の出会いをし、私達の家族になりました！うちに来て、不安からの問題行動。それでも毎日私達家族を信じようとしてくれて…早2年4ヶ月。今では甘えたさんなおてんばガールです♡



「きみに会えてよかった」

土屋 昭穂様

幼い頃から自分の犬を飼うことが夢だった。

高2になった私はやっと両親の許しをもらい、自分で新聞を調べ、連絡を取り保護施設に向かった。
何匹かいた兄弟はすでにもらわれ、1匹残っていた子犬に「残りものに福あり」から名前は福ちゃん。

実は福ちゃん以外にも明日は殺処分と言われるわんちゃんが数匹。

そのこたちの命も背負って日々生きている福ちゃん。

あれから十数年経っても元気できてくれてありがとう。笑ってくれてありがとう。そばにいてくれてありがとう。

夢を叶えてくれてありがとう。きみに会えて本当によかった。



「迷犬リンチンチン」

高橋 理枝様

首輪も着けず道路を爆走していた迷犬リンチンチン。

ガリガリの臭い体でフィラリア陽性、皮膚はカビだらけ、案の定飼い主さんは現れず…
保護当初は感情もなくただじっと固まっていたものの日に日に笑顔が増えて明るくなり、
我が家の犬たちとたくさん遊び楽しい日々を過ごせるようになりました！

これからは毎日幸せでありますように！



「うちの子になった日」

藤本 佐代子様

群馬の保護団体さんからうちに来て、しばらくは借りてきた猫…ならぬ犬でしたが、なんども近くのドッグランで遊んでいるうちにひょうきんな表情も見せてくれるように。わが家へ来てからちょうど2ヶ月のことでした。



「山中湖畔へ遠足 富士山を見に行ったよ！」

梶 肅明様

お店の看板犬の2匹。

コーギーは生まれた時に知人より譲渡され普段はお店の中でお客様にご挨拶と営業。

白い中型犬は近所を徘徊している所を市役所で保護。

飼い主を探すも見つからずこのままでは保健所行き。

市職員が引き取らないかとお店に相談にきました。

ただ、その数か月前白い大型犬を見送ったばかり…目の前の市役所に保護され鳴き声も聞こえる、意を決して見に行くと思送った犬に似ている、そのまま引きとられ幸せに暮らしています。

見送った白い犬は「ヒメ」という雌。

保護した犬は雄だったので「姫太郎」と名付けられました！



入選作品

いのちつないだニャンコ部門



「だいすきだよ」

浦添 ゆいな様

ずっと一緒にいようね





「大阪城の城主である」

吉田 雪絵様

殺されていたかもしれない保護猫まるん、
神様から生かされた大切な命を今度は、人と人とを繋ぐ人生を送らせたくて、
週末は旅と一緒にいく練習をしました。
大阪城をバックに歩かせて見たのですが、いつもは見えない表情、こんなたくましい顔で歩いているんですね。
平日いつもは仕事の為、家で一人でお留守番させていますが、
週末休日には一日中、自然の中でずーっと一緒にいれる事が幸せいっぱいです。



「ソウラ、幸せまで真っ直ぐ！！」

築港猫倶楽部様

大阪の西に広がる人工の島・夢洲。ソウラはそこで保護した猫です。
コンテナふ頭と2025年大阪万博予定地である広大な埋立地。
街はなく住む人もなく猫などいるはずのない場所に、人により遺棄された猫達が存在しています。
働く人達の捨てたゴミを食べて。
糞には多くのプラゴミが混じっているのです。
名前のソウラは、ノルウェー語で真っ直ぐの意。
一度は棄てられ、それでも人を信じて心を開いてくれた猫です。
ソウラ、希望を失わず真っ直ぐな瞳で、もうすぐトライアルが始まります！！



「知ってた？猫って飛べるんだよ」

宮城 陽子様

3年前に親猫とはぐれて鳴いている所を保護、我が家の子になったちーたん。
遊ぶ事が本当に好きで、オモチャを追いかけてどこまでも飛んでいきます。
ユニークなショットを沢山撮らせてくれるフォトジェニックな子です。



「里親募集中の保護猫たち」

太田 愛様

現在預かりボランティアさん宅にてお世話されている里親募集中の保護猫たちです！
TNR現場からの保護だったり、遺棄されているところを保護したり、
みんなそれぞれに違うストーリーを持った別々の場所からやってきた子たちですが、
とても仲が良く、素敵なお縁を探しています。
グレーのハチワレくんは現在トライアル中、子猫2頭は里親さんが決まりました。
毎月第3日曜日に奈良市で譲渡会を開催中です。
みんなに素敵なお縁がありますように！



「こはく！うしろうしろ！」

倉垣 めぐみ様

人懐っこいこはくと、用心深いこのは。正反対の性格が可愛い兄弟です。
ウチにきた当初は二匹で寄り添い隠れるように寝ていた二匹。
慣れてきてこはくが離れるとミャーミャー鳴くこのは。このはが鳴くとすぐに駆け寄るこはく。
今は夜には家の中を駆け回り毎日運動会を繰り広げてます♪
お姉ちゃん達とも仲良くなれて、毎日が幸せで溢れています。
こはく、このは、我が家に来てくれて本当にありがとう。



「ぶんたろうの美味しいお水」

長嶺 千春様

会社の看板猫ぶんたろうは6ヶ月頃に隣家の屋根から降りられない所を保護しました。
最初から人懐っこく、物おじしない猫でしたが、今では8kgの本当に貴族ある子に育ちすぎました！
会社に来客があっても自分を崩さないマイペースな大物です。
影の取締役かもしれません。
彼の影響で、TNR活動を続けています。
ぶんたろうが私の猫病発症の発端です。



「タイガ・スカイウォーカー 空を切る」

有馬 真由美様

前日の嵐が嘘のような快晴の日、自宅で持ち帰り仕事をしていると、悲しげな猫の声が風によって、窓から聞こえてきました。外に出てみると、道路をたどたどしい足取りで子猫が鳴きながらやってくるのが見えました。晴天の霹靂ともいえる出会いでしたが、

キャラメル色の縞柄の子猫をタイガと名付け、家族として迎え入れました。この写真は、ほとんど使うこともなく亡くなった父の歩行器にタイガをのせて、母が近所を散歩し始めた頃のもので、慣れない外におっかなびっくり、でも頬に風を受け得意満面の表情が懐かしい一枚です。



「電車ごっこ」

日笠 愛様

ぐりは保護猫活動をしている友人から、1年半前に譲りうけました。猛暑の中、外にいてガリガリにやせ細っていたので、ガリちゃんと呼ばれていたため、響きの似た「ぐり」という名前にしました。保護されてからは、部屋の中を走り回り、モリモリとごはんを食べ、いまや「ガリちゃん」の面影はほぼありません。夫が3年かけて作った鉄道模型のレイアウトの上が夏のお気に入りの場所で、ゴロゴロしながら、日々、模型を破壊しています(笑)ぐりの可愛さのあまり、夫も怒ることができません。

いのちつないだ♡ワンニャン写真・動画コンテスト2021

《審査員紹介・総評》



Photo by ISU

森田恭通 (もりたやすみち) / 審査委員長

デザイナー / GLAMOROUS co.,ltd. 代表
1967年大阪生まれ。1996年、森田恭通デザインオフィスを設立。2000年6月にはGLAMOROUS co.,ltd.としてスタートを切る。
2001年の香港プロジェクトを皮切りに、ニューヨーク、ロンドン、上海など海外へ活躍の場を広げている。
インテリアに限らず、グラフィックやプロダクトといった幅広い創作活動を行っている。
2010年10月オープン「セントレジス ホテル大阪」内のレストランのインテリアも手がける。Best of Year Awards 2009など、受賞歴多数。
夫人の大地真央さんと保護した猫を含む6匹の猫に囲まれて、猫三昧の日々を送る。

《総評》

昨年度からコロナウイルスが続く状況の中、人に会う、触れあうことに制限のある日々ですが、こうしてワンちゃんネコちゃんの素晴らしい写真を拝見し、まるで触れ合えたかのようなとても暖かい気持ちになりました。自粛期間中に、動物を飼う人たちが増加したという話を目にする但也有りますが、一時のものにならず、未長く愛され続けられることを願っております。

桂文枝 (かつらぶんし) / 特別審査委員

上方落語協会会長、昭和41年関西大学在学中に桂小文枝に入門。
ラジオの深夜番組で若者に圧倒的な支持を得る。以降、TV・ラジオと数々の番組の司会を担当。
昭和56年「創作落語」を定期的に発表する「落語現在派」を旗揚げ、現在までに200作以上の作品を発表。
昭和59年・平成15年に2度の文化庁芸術祭大賞受賞。また平成15年第6代目の上方落語協会会長に就任。
上方落語の定席「天満天神繁昌亭」建設に取り組み、平成18年9月、戦後61年ぶりに大阪に落語専門の寄席が復活。
創作落語のなかにも犬や猫を多く取り入れるほどの無類の動物好き。



八二一 (はにはじめ) / 特別審査委員

男女二人組の写真家ユニット。
来秀則 (らいひでのり 12月14日生まれ) と藤原なつみ (ふじわらなつみ 7月3日生まれ) の夫婦。
ペット写真の講師としても有名で、「おしゃれ工房」(NHK教育テレビ)をはじめ、数々のテレビ、雑誌に出演。
近鉄文化サロン阿倍野、NHK大阪文化センターにて写真講師を勤めるかたわら、「猫びより」(日本出版社)等にも連載を持つ。
青山社のはっちゃん写真集シリーズ、はっちゃん日記シリーズの他、講談社の『はっちゃんのデジカメ！写真ドリル』、写真絵本『はっちゃんのちじょう』、『はっちゃんのへんがお』、竹書房『はっちゃんだ！』、外猫の写真集『君のニャは、』(ワニブックス)など。
無敵のニャンドルはっちゃんは日本を代表するTNR みみ先Vカット猫として、TNR活動の普及啓発で活躍。
はっちゃんそっくりと話題のぎゅうちゃんは、亡きはっちゃん二代目として、たぐいまニャンドル修業中。

《総評》

昨年に引き続き、コロナ禍で写真展が中止となったことは残念ですが、写真の応募総数がこれまでで最も多かったとのことで、コンテストの盛り上がりを感じております。今年は、優しい気持ちになれるような写真が印象深かったです。ワンコ部門は、みんな幸せそうな顔をしていて、その表情がわかりやすいように、ローアングルで捉えているのがよいと思いました。ニャンコ部門は、ユーモラスな場面に笑顔になりました。さくらねこ部門は、地域猫に対する愛情と、それを見守る優しい視線を感じました。

《概要》

主催：公益財団法人どうぶつ基金

後援：環境省、大阪府

応募期間：令和3年4月1日～7月31日

インターネット投票期間：令和3年4月1日～8月31日

応募部門：1、いのちつないだワンコ

2、いのちつないだニャンコ

3、さくらねこ

4、動画部門

応募方法：どうぶつ基金のホームページからデータ添付にて応募する。

応募資格：行政からの譲渡、動物愛護団体や個人ボランティアから譲渡された犬や猫、町で保護した犬や猫、さくらねこ(TNRを行いまみ先カットを施された猫)が対象被写体。

応募点数：1人10作品までとする。(通常の写真応募は1人10作品、里親募集の場合は応募数を無制限にする)(1頭に1作品で頭数には制限をつけない)

参加費用：無料

審査委員長：森田恭通(デザイナー)

特別審査員：桂文枝(落語家 文化庁芸術祭大衆芸能部門大賞受賞)

来秀則(八二一、はっちゃん日記)

藤原なつみ(八二一、はっちゃん日記)

佐上邦久(どうぶつ基金理事長)

選定方法：ホームページ上で応募作品を展示し広く一般の方から投票とコメントによるレビューを行う。これらの結果を参考に、審査委員会で審査員が選ぶ。

各賞：1. 環境大臣賞 (1名)(賞状 賞金、賞品合わせて10万円相当)

2. 大阪府知事賞 (1名)(賞状 賞金、賞品合わせて2万円相当)

3. 理事長賞 (1名)(賞状 賞金、賞品合わせて2万円相当)

4. 審査員特別賞 (1名)(賞状 賞金、賞品合わせて2万円相当)

5. 入選 (26名)(賞状 記念品)

結果並びに発表：優秀作品の審査の結果は、令和3年9月下旬に当ウェブサイトにおいて発表。

殺処分ゼロを目指して。

公益財団法人どうぶつ基金は1988年の設立以来、犬や猫の殺処分ゼロの実現を目指して活動を続けてきました。

基金では、殺処分ゼロを実現するために、5万頭におよぶ猫の無料不妊手術を始め、

無料不妊手術病院の運営や譲渡の助成金制度、啓発イベントの開催など、様々な事業に取り組んでいます。

どうぶつ基金が推進する「さくらねこTNR」とは

さくらねこTNR (TNR先行型地域猫活動)

どうぶつ基金は、1988年に設立されて以来、人とどうぶつが幸せに共生できる社会づくりに貢献してきました。その中で、2005年度から動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は、「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR(Trap/捕獲し、Neuter/不妊手術を行い、Return/元の場所に戻す、その印として耳先をさくらの花びらのようにV字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ「飼い主のいない猫」に関わる苦情や、殺処分の減少に寄与する活動です。



TNRは、トラップ(捕獲して) ニューター(不妊手術してさくら耳カット) リターン(元の場所に戻す)の略。 どうぶつ基金では、 TNR数千頭の実績を持つ獣医さんや 専門スタッフがご相談を受け付けています。

行政による犬猫の団体譲渡事業推進のための助成金制度

犬や猫を殺処分前に救って

新しい家族を見つける活動を支援しました

どうぶつ基金では全国の行政で行われている犬や猫の団体等譲渡制度を推進するために、行政から保護動物を引き取り、新しい飼い主に再譲渡している団体または個人活動家の方に、

1頭あたり5,000円の助成を行いました。

2020年度は、1,083頭が再譲渡され、合計5,415,000円の助成を行いました。

「犬猫の命を助けてたい」あなたの優しい気持ちを動物たちに届けます。

2,000円で一頭のオスねこが、4,000円で一頭のメスねこが「さくらねこ無料不妊手術」を受けられます。

あなたのご支援が、殺処分ゼロを実現する力になります。

あなたに合った方法でご支援をお願いいたします。

寄付はこちらから

公益財団法人
どうぶつ基金



どうぶつ基金 寄付 検索

■ さくらねこサポーター(月々2,000円からの継続寄付)

■ クレジットカード ■ Yahoo!ネット募金 ■ ありがとうブック

■ 銀行振り込み ■ Paypal ■ チャリティモバイル

■ 郵便振替 ■ Famiポート募金 ■ つながる募金

公益財団法人どうぶつ基金へのご寄付は、税制上の優遇措置の対象となります。

寄付のお問い合わせは**0797-57-1215**まで(平日9:00~17:00)

